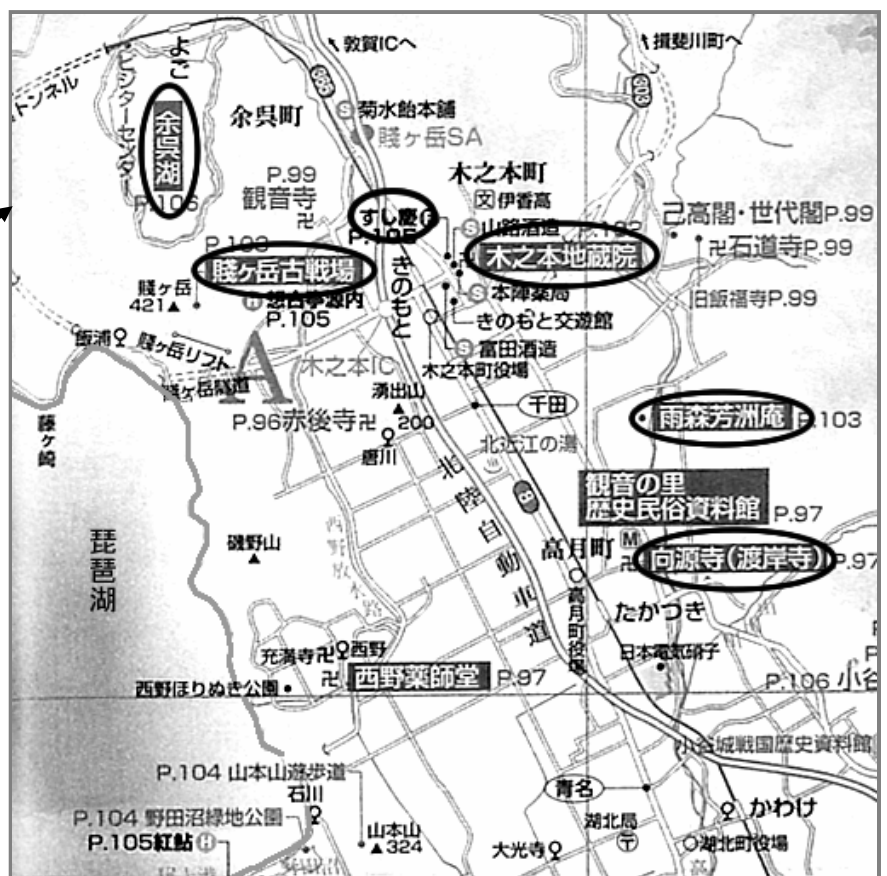


湖北は幾度となく戦国乱世の舞台となりましたが、
今なお多くのものが集落の人々の手によって守り伝えられています。
賤ヶ岳（しずがたけ）の古戦場が一望できる余呉湖には深い静けさが漂い、
江戸時代、北国街道の宿場町として栄えた木之本町には、いにしへの趣があります。
朝鮮外交に活躍した雨森芳洲の庵や国宝十一面観音像を訪ねる旅、
深い大人の味わいのある旅となるでしょう。

参加募集人数：45名（人数になり次第〆切りますのでお早めにお申込ください。）



*「結みのお」会員でない方は、これを機にご入会下さい。(1口1,000円以上)

＜当日のポイント＞

- ☆ はきなれた靴で！（散策は、徒歩です。）
- ☆ 散策しやすい服装で！（帽子・日傘があったほうがいいです）

＜当日のスケジュール＞

- 8：30 メイプルホール前 集合・出発（名神高速から北陸自動車道へ）
10：00 多賀サービスエリア・・・トイレ休憩
10：50 余呉湖・はごろも市・・・周辺散策、新鮮野菜・手作り食品のお買物
11：40 昼食「すし慶」・・・建物内に必見の蔵あり
13：00 木之本宿散策
13：50 雨森芳洲庵見学・・・館長の話、高月町散策
15：00 渡岸寺（どうがんじ）拝観・・・国宝十一面観音像
15：30 出発
16：40 草津パーキングエリア・・・トイレ休憩
18：00 メイプルホール前 帰着

（時刻はあくまでも予定ですので、多少の遅れ、変更はご了承ください）



余呉湖

羽柴秀吉と柴田勝家との天下分け目の戦い、
賤ヶ岳古戦場を望む。



雨森芳洲の庵（東アジア交流ハウス）

芳洲の出身地（高月町雨森）に建設。その生涯と
功績を記し、朝鮮通信使の資料など展示。



木之本地蔵院

木之本宿にあり、眼病に御利益があるといわれる
地藏菩薩が安置されている。（要拝観料）



渡岸寺（どうがんじ）

日本に現存する7つの国宝十一面観音像の一つ。
優美な曲線が最も美しい。

